

GUNMA
HOUSING
AWARD
2019

のぼり天井のいえ

〈のぼりてんじょうのいえ〉

最優秀賞

設計者 ATELIER N

施工者 株式会社 オムニバス



CONCEPT

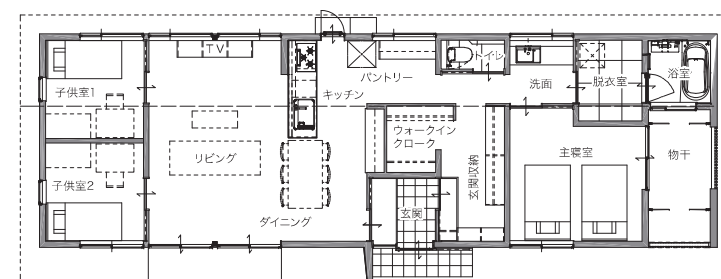
設計主旨

のどかな風景の広がる広大な敷地に計画した小さな住宅。敷地の北側には山々を望み、南側にはご両親の実家が隣接、西側には賃貸住宅が建っている。

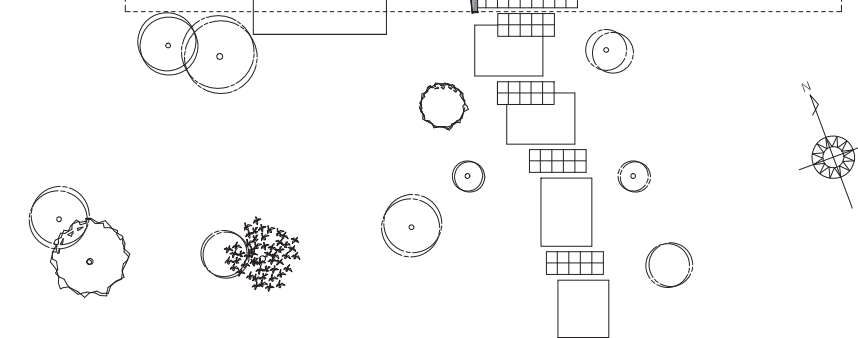
ローコストでも諦めない住まいづくりを実現するために、周辺からのプライバシーを確保するため塀などで囲ったりせず、広い敷地を最大限に生かし、周辺からの視線や景色の抜けなどを考慮した配置計画とした。また、南側のご実家から計画敷地へのアプローチは世帯間のプライバシーの確保とご両親の実家との繋がりを熟慮した計画とした。

建築は東西に長細い矩形の平面計画とすることでコストを抑え、多くの部屋が光環境を最大限享受できるように計画している。ワンルーム的に計画した家全体を貫くように室内からV字型にのぼる天井を架け、南・北に上っていく天井に合わせた開口部を設けることで、よりいっそう住居間に広がりをもたせた。このことにより、日照や通風にも効果的な計画となっている。

日の届かない家の中心部に玄関収納、ワークインクローク、パントリーなどを集約することで無駄のない大容量の収納スペースとなり、また各部屋から使いやすく管理しやすい収納計画となっている。



平面図



REVIEW

講評

長閑な田園風景が残る里山の新興住宅地に佇む勾配屋根と勾配天井が特徴的な住宅である。内外連続する天井から軒が外部からの視線を遮りつつ解放感のある部屋を構成し、また居室間もガラスの欄間による視野の繋がりと広がり確保している。特筆すべきはこの高い意匠

性を確保しつつも設計主旨にあったように『ローコストでも諦めない』をみごとに実現している高コストパフォーマンスの良さにある。施主の満足度の高さとも相まって「ぐんまの家」最優秀賞としてここへ選出された。